

✓ 1. 謝礼は「いくらでもらえばいい？」

演奏活動で報酬をいただく際、明確な相場はありません。
ただし、以下を目安に考えるとスムーズです。

- 個人での訪問演奏(30分～60分): 3,000円～10,000円
- 2人以上での編成: 5,000円～15,000円／人
- 施設側が予算を持っているケースが多いため、見積もり相談は丁寧に。

💡 最初は「交通費＋お気持ち程度」でも、繰り返すうちに金額UPの流れを作ることが可能です。

✓ 2. 謝礼はどう伝える？

お願いしづらい謝礼の話も、事前に伝えるのがトラブル回避のカギです。

▶伝え方の例(電話・メール)

「予算についてですが、〇〇円ほどいただける形でしたらありがたくお受けできます。」
「有償での演奏も可能ですが、ご希望のご予算などがありますでしょうか？」

無理に請求する必要はありませんが、「無料前提」ではないことをやんわり伝えるのがポイントです。

✓ 3. 契約書は必要？

施設との関係や金額が大きくなる場合には、簡易的な「確認書」「出演依頼書」などが役立ちます。

▶最低限おさえない項目：

- 演奏日時・場所
- 謝礼金額・支払い方法(現金／振込)
- 内容のキャンセル時の対応(急病など含む)
- 使用機材の準備(ピアノ・マイク等)

💡「口約束」でも済む場合も多いですが、LINEやメールで内容を文字に残しておくことが安心材料になります。

✓ 4.トラブルを防ぐには？

- 曖昧なまま当日を迎えない
 - 相手の期待と自分の準備にズレがないよう、事前に確認を
 - 「演奏時間」や「曲数」も過不足なく伝える
-

✓ 5.「報酬＝悪いこと」ではない

報酬をもらうことに罪悪感を抱く方もいますが、
「音楽で人に喜んでもらい、その対価としていただくもの」として自信を持ってOKです。

💬 最後に

初めて報酬をいただくとき、不安や戸惑いがあるのは自然なこと。
でも、少しずつ経験を積み重ねていけば、
「安心して演奏できる関係づくり」ができるようになります。